

(3) 広報物（リーフレット・WEB 情報・マニュアル・市報など）

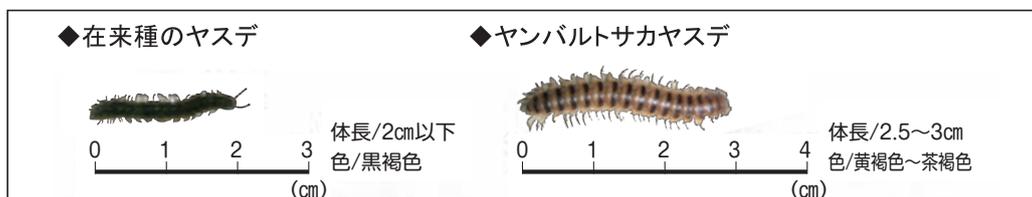
① 鹿児島県 一般用リーフレット

<[http://www.pref.kagoshima.jp/ad03/kurashi-kankyo/recycle/ippan/yasude/documents/2754\\_20210322100336-1.pdf](http://www.pref.kagoshima.jp/ad03/kurashi-kankyo/recycle/ippan/yasude/documents/2754_20210322100336-1.pdf)>

## ヤンバルトサカヤスデの まん延防止に御協力ください

### ヤンバルトサカヤスデとは？

- ヤンバルトサカヤスデは台湾原産の外来生物です。鹿児島県では、奄美地域、南薩地域などを中心に発生しています。
- 農作物や人に害を及ぼすことはありませんが、繁殖力が強く、おびただしい数で集団移動したり、ブロック塀や壁をよじのぼったり、家屋の中に侵入したりすることから、強い不快感を与えるものです。



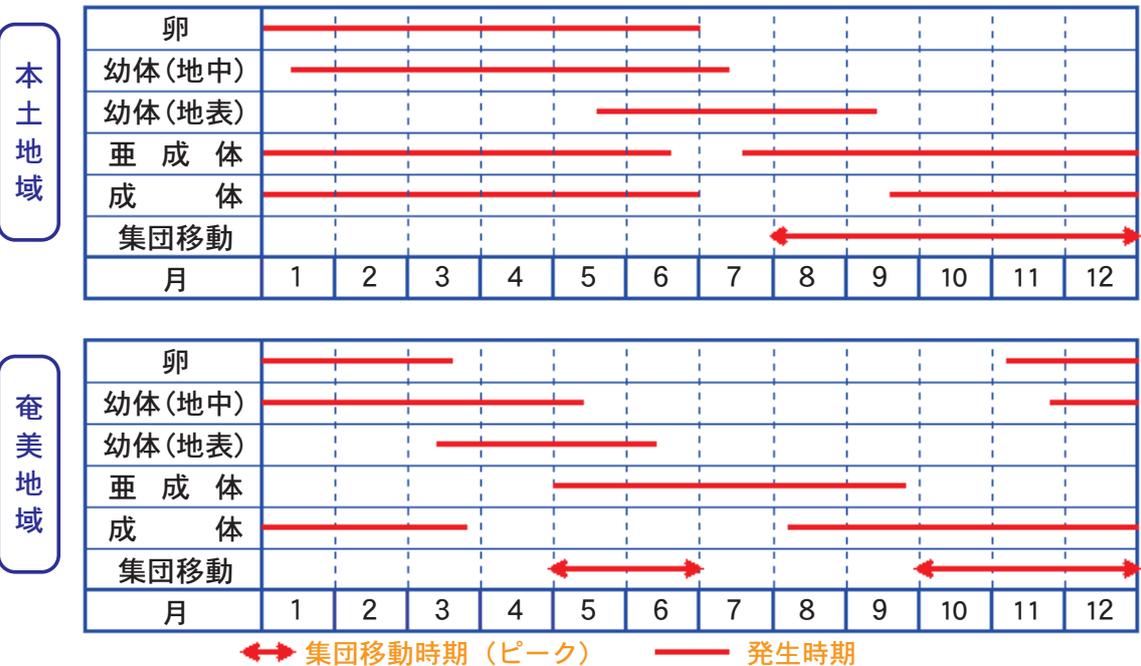
### まん延防止対策

ヤスデのまん延は、棲息地域からの樹木等の移植の際に土や堆肥などとともに、卵、幼体、成体が人為的に運ばれることがもっとも大きな原因であるといわれています。

- 棲息地域からの園芸樹木等の根付き植物の持ち出しは極力避けるようにしましょう。  
やむを得ず持ち出す場合には、株もと・根回りの土壤にジョロ等を用いて薬剤を十分に注ぎ込みましょう。
- 鉢物についても、ジョロ等を用いて同じような処理をするか、また鉢全体を薬剤に浸すなどの処理をしましょう。
- 宅配便を利用して、根付き植物を送る場合も、同様の処理を行いましょう。
- 堆肥、敷わら、茅、芋づる等や土木工事等に伴う土砂等をやむを得ずヤスデの棲息地から搬出する場合は、搬出現場で薬剤処理や燻蒸処理をしましょう。

## ヤンバルトサカヤステの一生

- 卵→幼体→亜成体→成体と発育し、寿命は約1年～1年半です。
- 交尾期は、本土地域では11月～12月頃、奄美地域では10月～11月頃で、交尾後約1か月で産卵します。
- 卵は球状、乳白色、直径0.5mmで、一度に150個～350個程度、ぶどうの房状のかたまりで産み出されます。また、孵化率は高く、7日～10日前後で孵化します。
- 集団移動時期は、本土地域では8月～12月頃、奄美地域では年に2回あり、亜成体の集団移動が5月～6月頃、成体の集団移動が10月～12月頃に起こります。  
なお、堆肥等で増殖した個体群の集団移動は、この期間以外にも起こります。
- 湿度の高い雨上がりの夜によく集団移動します。
- 繁殖力が強く、広域に定着すると根絶は困難といわれています。



ヤンバルトサカヤステの一生(推定図)



卵



幼体



成体

## ヤンバルトサカヤスデの防除方法

### ● 環境整備 ●

ヤスデは、餌となる落葉などのあるところや、日当たりの悪い湿気のある場所を好みます。ヤスデの棲息しにくい環境づくりを、地域で一体となって繰り返し実施することが重要です。

- 土手の草払いや下草刈りを徹底し、日当たりをよくし、暗く湿った場所をつくらないようにしましょう。
- 側溝は周辺も含めて清掃を徹底し、ヤスデが入り込まないようにして、雨水に流れて移動することを抑制しましょう。



### ● 侵入防止 ●

ヤスデは集団で移動したり、壁や塀をよじ登ったり家の中に侵入したりします。

- ヤスデは表面がツルツルした所は進めません。
  - ・ 養生テープ(建築用マスキングテープ)やステンレス板を家屋の周り(柱や壁など)に貼る。(「ヤスデ返し」の設置)



＜養生テープ(緑色部分)を使ったヤスデ返し＞  
(写真：錦江湾高校提供)



＜ステンレス板を使ったヤスデ返し＞

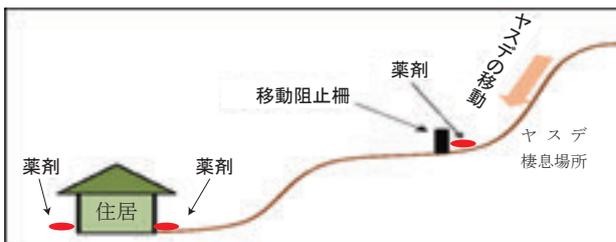
## ● 侵入防止 ● ～つづき～

- ・ 農業用のアゼシートを活用した移動阻止柵を、山裾等の林地と住宅地との境界に作る。



＜アゼシート活用の移動阻止柵＞

- ヤスデは薬剤に弱いといわれています。アゼシートの外側(山側)や家屋の周りに薬剤を散布しておくことで、侵入を防止することができます。
- 薬剤の散布  
薬剤は、説明書をよく読んでお使いください。



＜アゼシートの外側(山側)への薬剤散布によるヤスデの死骸＞

## ● 駆除方法 ●

ヤスデは、農作物に被害を与えたり、人に害を及ぼしたりしません。

- ヤスデの幼体は成体と比べ日光や乾燥、体への刺激に対しても弱いので、幼体の多い時期に田畑の掘り起こしや下草払いを行います。
  - ・ 本土地域：1月～8月頃
  - ・ 奄美地域：11月～6月頃
- 薬剤散布時期は、ヤスデが地表で活動する時期が効果的です。
  - ・ 本土地域：7月頃～
  - ・ 奄美地域：4月頃～



ヤスデは外界から刺激を受けるとシアン化合物を含むガスを発生すると言われていいますので、焼いたり熱湯をかけたりのはやめましょう。

※薬剤散布に当たっては、近隣の農耕地に薬剤が飛散することのないように、また、河川や用水路(側溝)に薬剤が入らないように十分注意しましょう。

詳しくはお住まいの市町村役場の環境衛生担当課  
又は県廃棄物・リサイクル対策課(099-286-2594)にお問い合わせください。



このリーフレットは、再生紙を使用しています。

2022. 3作成

## ② 鹿児島県 事業者向けリーフレット

<[http://www.pref.kagoshima.jp/ad03/kurashi-kankyo/recycle/ippan/yasude/documents/2754\\_20210401102241-1.pdf](http://www.pref.kagoshima.jp/ad03/kurashi-kankyo/recycle/ippan/yasude/documents/2754_20210401102241-1.pdf)>

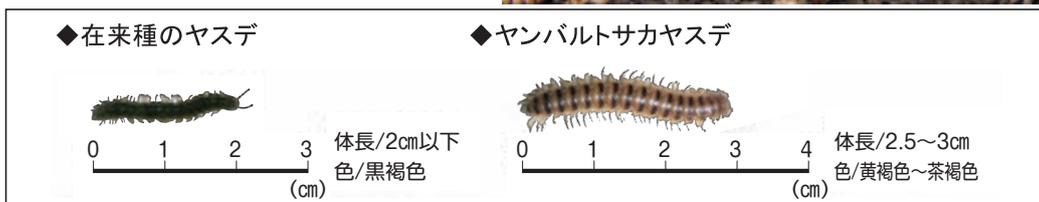
# (事業者の皆様へ) ヤンバルトサカヤスデの まん延防止に御協力ください

ヤンバルトサカヤスデは、1956年に台湾で発見されたヤスデの一種です。日本では、1983年(昭和58年)に沖縄県で初めて確認され、鹿児島県においては、1991年(平成3年)に徳之島町で大量発生して以来、奄美地域や県本土においても各地で確認されており、その棲息域は年々拡大する傾向にあります。

ヤンバルトサカヤスデの拡大は、人為的な移動によるところが大きく、まん延防止には関係する事業者の皆様の御協力が必要です。

## ヤンバルトサカヤスデとは？

- ヤンバルトサカヤスデは、台湾原産の外来生物です。落ち葉や腐葉土のような腐った植物質を餌としており、日光の当たらない湿った場所を好みます。
- 人や農作物に直接被害を与えることはありません。しかし、繁殖力が強く、おびただしい数の集団で移動するため、見る人に強い不快感を与えます。



## ヤンバルトサカヤスデの一生

- 卵→幼体→亜成体→成体と発育し、寿命は約1年~1年半です。
- 交尾期は、本土地域では11月~12月頃、奄美地域では10月~11月頃で、交尾後約1か月で産卵します。
- 卵は球状、乳白色、直径0.5mmで、一度に150個~350個程度、ぶどうの房状のかたまりで産み出されます。また、孵化率は高く、7日~10日前後で孵化します。
- 集団移動時期は、本土地域では8月~12月頃、奄美地域では年に2回あり、亜成体の集団移動が5月~6月頃、成体の集団移動が10月~12月頃に起こります。  
なお、堆肥等で増殖した個体群の集団移動は、この期間以外にも起こります。
- 湿度の高い雨上がりの夜によく集団移動します。
- 繁殖力が強く、広域に定着すると根絶は困難といわれています。

## まん延防止対策

ヤンバルトサカヤスデの拡大の原因は、人為的な移動によるものがもっとも大きいといわれています。

具体的には、園芸樹木等の根付き植物や鉢植え、堆肥等の農業資材、工事現場の残土などとともに卵等が運ばれ、棲息域が拡大していきます。

このため、まん延の防止には、地域住民の方々の御協力はもとより、園芸業、農業、建築業などの関係業者の皆様のご協力が不可欠です。

### ● 園芸業者の皆様へお願い ●

- ヤンバルトサカヤスデの発生地域から、根付き植物、鉢植え等を極力持ち出さないようにしてください。
- やむを得ず根付き植物を持ち出す場合には、株元・根回り部分の土にジョロ等を用いて、十分に薬剤を注ぎ込んでください。
- 鉢植えについても、根付き植物と同様にジョロ等を用いて処理するか、または鉢全体を薬剤に十分浸してください（小売店においては、入荷日に処理してください）。

### ● 農業者の皆様へお願い ●

- ヤンバルトサカヤスデの発生地域から、堆肥、敷きわら、芋づる等を極力持ち出さないようにしてください。
- やむを得ず持ち出す場合には、1週間ほど土に埋めてから持ち出してください。
- ヤスデが幼体の時期（本土地域：1月～8月頃、奄美地域：11月～6月頃）は、外部からの刺激に非常に弱いため、この時期に田畑の天地返しを行ってください。
- 水田等のかん水が可能な場所では、4～5月頃に一時的にかん水することで、生息個体を一掃することが可能です。

### ● 建設業者の皆様へお願い ●

- ヤンバルトサカヤスデの発生地域での工事で発生した残土、伐採木等は、極力地域内で処分するようにしてください。
- やむを得ず地域外で残土を処分する場合には、1日分の土を積み重ねるようにし（土の重さでヤスデが圧死する。）、最後の1～2台分の土は薬剤で処理してください。
- 伐採木等を地域外で処分する場合は、移動の前に薬剤で処理してください。
- 現場に出入りする際には、工事車両のタイヤ周りや機材等を薬剤で処理してください。

薬剤散布に当たっては、近隣の農耕地に薬剤が飛散しないように、また、河川や用水路（側溝）に薬剤が入らないように十分注意してください。

詳しくはお住まいの市町村役場の環境衛生担当課  
又は県廃棄物・リサイクル対策課(099-286-2594)にお問い合わせください。

このリーフレットは、再生紙を使用しています。



鹿児島県

2022.3作成

### ③ WEB 情報

#### 1) 鹿児島県 WEB ページ

<[https://www.pref.kagoshima.jp/ad03/kurashi-kankyo/recycle/ippan/yasude/yasude\\_taisaku.html](https://www.pref.kagoshima.jp/ad03/kurashi-kankyo/recycle/ippan/yasude/yasude_taisaku.html)>

ホーム > くらし・環境 > 環境保全 > 大気・騒音等 > ヤンバルトサカヤスデ対策について

## ヤンバルトサカヤスデ対策について

### 1 発生状況

#### (1) 昭和58年度：沖縄県で異常発生

#### (2) 平成3年度：徳之島町で異常発生

#### (3) 奄美群島で生息地を拡大（H12までに全域に拡大）

- H4：奄美市（旧名瀬市）
- H6：天城町
- H7：瀬戸内町，龍郷町
- H8：大和村，奄美市（旧住用村，旧笠利町），喜界町，与論町
- H9：宇検村，伊仙町
- H12：和泊町，知名町

#### (4) 奄美群島以外にも生息地を拡大

- H11：南九州市（旧額娃町，旧知覧町）
- H14：指宿市（旧山川町），屋久島町（旧屋久町）
- H15：鹿児島市（旧吉田町），枕崎市，日置市（旧吹上町）
- H16：鹿児島市
- H17：指宿市
- H22：南さつま市（旧大浦町），出水市（旧高尾野町）
- H25：霧島市（旧国分市），阿久根市
- H26：鹿屋市，姶良市（旧姶良町）
- H29：長島町
- R3：西之表市，中種子町，錦江町

## (5) ヤンバルトサカヤステが確認された市町村



関連リンク

[鹿児島県オープンデータ \(ヤンバルトサカヤステ\)](#)

## 2 市町村への助成措置

平成8年度から、市町村が行う「薬剤散布等の駆除事業」については、特別地方交付税措置が講じられることとなった。

### 3 県の対応

平成6年度から、まん延防止のためのリーフレットの作成・配布、ヤスデの効果的な駆除方法の研究、薬剤の研究・開発などを行っている。

平成11年度以降は、大学や民間の研究者等を委員とする「ヤンバルトサカヤスデ対策検討委員会」を開催するなど、まん延防止対策の普及啓発に努めている。

平成27年度には、人の生活圏への侵入防止という点に重点を置き、平易な冊（農業用アゼシート）を利用した「ヤンバルトサカヤスデ侵入防止対策マニュアル」を取りまとめた。

#### 【これまでの取組み】

平成6年度	現地調査、市町村への情報提供
平成7年度	「ヤスデまん延防止マニュアル」の作成・配布
平成9年度	「ヤスデ対策プロジェクト班」を設置（民間研究者、農試大島他） 薬剤散布による水質への影響調査を開始
平成10年度	駆除剤（ミリベータ、コイレット）の開発
平成11年度	「ヤスデ対策検討委員会」を設置（大学・沖縄の研究者等を追加）
平成13年度	パンフレットの作成・配布（8万部）
平成14年度	パンフレット（樹木移動協力用）の作成・配布（4万部） これまでの防除対策を取りまとめた「ヤスデの防除対策」の作成・配布（500部）
平成15年度	「ヤスデまん延防止対策庁内連絡会議」を設置
平成16年度	リーフレットの作成・配布（3.5万部） 産卵行動等の生態調査、忌避剤開発に関する調査研究
平成17年度	リーフレットの作成・配布（3.5万部） 不妊化手法の解明、忌避剤開発、生理・生態に関する調査研究
平成18年度	リーフレットの作成・配布（3.5万部） 不妊化手法の解明、忌避剤開発に関する調査研究
平成19年度	リーフレットの作成・配布（3.5万部） 不妊化手法の解明、忌避剤開発に関する調査研究
平成20年度	リーフレットの作成・配布（3.5万部） 不妊化手法の解明、忌避剤開発に関する調査研究

平成21年度	リーフレットの作成・配布（3.5万部） 効果的な駆除方法の検討、忌避剤開発に関する調査研究
平成22年度	リーフレットの作成・配布（5.5万部） 効果的な駆除方法の検討、忌避剤開発に関する調査研究
平成23年度	リーフレットの作成・配布（3.5万部） 効果的な駆除方法の検討、忌避剤開発に関する調査研究 住民説明会の開催
平成24年度	リーフレットの作成・配布（一般向け3.5万部、事業者向け2万部） 効果的な駆除方法の検討、忌避剤開発に関する調査研究 住民説明会の開催・現地指導の実施
平成25年度	リーフレットの作成・配布（一般向け3.5万部、事業者向け2万部） 効果的な駆除方法の検討 住民説明会の開催・現地指導の実施
平成26年度	リーフレットの作成・配布（一般向け4万部、事業者向け1.5万部） 効果的な駆除方法の検討 住民説明会の開催・現地指導の実施
平成27年度	リーフレットの作成・配布（一般向け4万部、事業者向け1.5万部） 効果的な駆除方法の検討 住民説明会の開催・現地指導の実施
平成28年度	リーフレットの作成・配布（一般向け4万部、事業者向け1.5万部） 効果的な駆除方法の検討
平成29年度	リーフレットの作成・配布（一般向け1.5万部、事業者向け7千部） 効果的な駆除方法の検討 住民説明会の開催・現地指導の実施
平成30年度	リーフレットの作成・配布（一般向け1.2万部、事業者向け7千部） 効果的な駆除方法の検討 住民説明会の開催
令和元年度	リーフレットの作成・配布（一般向け4千部、事業者向け2千部） 効果的な駆除方法の検討 住民説明会の開催
令和2年度	リーフレットの作成・配布（一般向け4千部、事業者向け2千部） 効果的な駆除方法の検討

## リーフレット『ヤンバルトサカヤスデのまん延防止に御協力ください』

[PDF 一般向け \(PDF : 927KB\)](#)

[PDF 事業者向け \(PDF : 2,598KB\)](#)

[PDF ヤンバルトサカヤスデ侵入防止対策マニュアル \(PDF : 2,178KB\)](#)

### よくあるご質問

現在よくある質問は作成されていません。

### このページに関するお問い合わせ

環境林務部廃棄物・リサイクル対策課  
電話番号：099-286-2594

[お問い合わせフォーム →](#)

## 2) 霧島市 WEB ページ

<https://www.city-kirishima.jp/kankyo/kurashi/kankyo/gaichu/hasse.html>

更新日：2021年3月8日

# ヤンバルトサカヤスデ

鹿児島県内各地で、外来生物である「ヤンバルトサカヤスデ」の発生が確認されています。

## ヤンバルトサカヤスデとは

ヤンバルトサカヤスデは、台湾原産の外来生物です。落ち葉や腐葉土のような腐った植物質を餌としており、日光の当たらない湿った場所を好みます。ヒトや植物に直接被害を与えることはありません。しかし、繁殖力が強くおびただしい数の集団で移動するため、見る人に強い不快感を与えるため、不快害虫とされています。

これまで、県内では平成3年に徳之島町で確認されて以来、奄美大島から南薩地方に拡大し、平成15年には鹿児島市でも確認されています。



## ヤンバルトサカヤスデの一生

- 卵→幼虫→亜生体→成虫と発育し、一生は約1年余りです、交尾期は10月から11月頃で、交尾後約1ヶ月で産卵します。
- 集団移動時期が年に2回あり、4月から6月頃に幼虫の集団移動、10月から11月頃には成虫の集団移動が起こります。
- 湿度の高い雨上がりの夜によく集団移動します。

## ヤスデのまん延防止

ヤスデのまん延は、生息地域からの庭木等の移動や堆肥等の移動とともに、卵や幼虫が人為的に運ばれることが最も大きな要因であるといわれています。ヤスデのまん延については次のことに注意してください。

- ヤスデの生息地域からの園芸樹木等の根付植物の持ち出しに注意しましょう。やむを得ず持ち出す場合は株もと・根回りの土壤にジョロ等を用いて薬剤を十分に注ぎ込みましょう。
- 堆肥や敷きわら、土木工事等に伴う土壌等を生息地域から搬出する場合は、搬出現場で薬剤処理や燻蒸処理をしましょう。
- ヤスデは外界から刺激を受けると有毒なガスを発生しますので、焼いたり熱湯をかけたりするのはやめましょう。
- 一般の家庭用殺虫剤で駆除することもできますが生息地域から一掃するためには地域全体で一斉駆除をしましょう。
- 土手の草払いや下草刈りを徹底し、日当たりを良くし、暗く湿った場所を作らないようにしましょう。
- 側溝は周辺も含めて清掃を徹底し、ヤスデが入り込まないようにすることや雨水に流れて移動することを抑制しましょう。

## 市民の皆様へ

ヤンバルトサカヤスデを見かけたら下記連絡先までご一報ください。

### お問い合わせ

霧島市生活環境部環境衛生課 電話 0995-64-0950  
又は県廃棄物・リサイクル対策課 電話 099-286-2594

④ マニュアル

＜ヤンバルトサカヤスデ侵入防止対策マニュアルーアゼシートを用いた侵入防止対策＞  
＜[https://www.pref.kagoshima.jp/ad03/kurashi-kankyo/recycle/ippan/yasude/documents/2754\\_20190905113052-1.pdf](https://www.pref.kagoshima.jp/ad03/kurashi-kankyo/recycle/ippan/yasude/documents/2754_20190905113052-1.pdf)＞

ヤンバルトサカヤスデ侵入防止対策マニュアル  
ーアゼシートを用いた侵入防止対策ー



平成28年3月  
鹿 児 島 県

## 侵入防止対策

### 1 はじめに

ヤンバルトサカヤスデは台湾原産の外来生物ですが、鹿児島県では、奄美地域や南薩地域などを中心に発生しています。農作物や人に害を及ぼすことはありませんが、繁殖力が強く、おびただしい数で集団移動したり、ブロック塀や壁をよじのぼり、家屋の中に侵入したりすることから、強い不快感を与えています。

一方、ヤンバルトサカヤスデは平滑な面は移動できないという特徴があります。

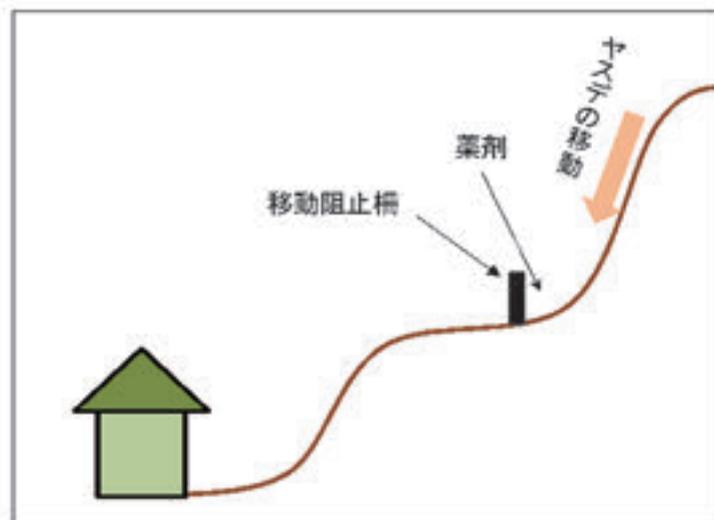
この特徴に着目し、鹿児島県では、鹿児島市、南九州市及び南さつま市の協力をいただきながら、発生地域において表面が滑らかなアゼシートを利用した侵入防止対策の効果を検証しました。その結果、住宅地や家屋への侵入防止対策として有効であるということが確認できましたので、設置方法等を紹介します。

ヤンバルトサカヤスデのまん延防止対策の一つとして活用していただければ幸いです。

### 2 設置方法及び維持管理

#### ○設置場所

ヤンバルトサカヤスデは発生源である林野から住宅地等への移動が見られ、平地では特に指向性はないが、標高の高い地域から低い地域へ移動する傾向がある。このため、アゼシート(移動阻止柵)の設置場所は、山裾等の林野と道路、住宅地との境界部で設置作業が比較的容易な舗装されていない裸地が望ましい。



設置場所模式図

### ○資材の選択

アゼシートは平板状と波板状のものがあるが、平板状のものが設置作業がしやすい。

杭は特に指定はなく、市販のもので良い。なるべく細い方が挿しやすい。

100m当たりの資材費は、アゼシートと杭を合わせて2万円程度である。



平板状のアゼシート



波板状のアゼシート

### ○アゼシートの設置

①設置箇所の除草作業を行う。(約1m幅)



②アゼシートを設置(固定)する溝切りを行う。

(道路の縁石やU字溝等のコンクリート部分を利用すると倒れにくくなる)



③切った溝にアゼシートをはめ込む。



④アゼシートを固定するため杭を打つ。(間隔は任意)



○駆除剤の散布

アゼシートから生息地側に約 50cm 幅で駆除剤を 20～30g/m<sup>2</sup> 散布する。



○アゼシートの効果

アゼシートでヤンバルトサカヤスデの移動が阻止され、生息地側で多数の死骸が確認された。



○維持管理

駆除剤の効果は2週間程度なので、10～14日間隔で薬剤を散布する。

ヤスデ死骸の除去を定期的に行う。

除草した部分の草が伸びるとヤスデ死骸の除去作業がやりにくなるので、除草剤を散布し、雑草管理を行う。草刈り機で除草するとアゼシートを破損するおそれがある。

ヤスデの死骸は定期的な除去が望ましいが、悪臭対策としては、市販されている木酢を散布することで悪臭の発生を抑えることができる。ただし、木酢の防臭効果は一回の散布で3～4日程度である。

○ヤスデの死骸の回収方法

<集塵機の比較>

メーカー	A社	B社
風量(集塵)	9m <sup>3</sup> /min (最大風量)	低速 6.5m <sup>3</sup> /min 高速 9m <sup>3</sup> /min
動力源	エンジン式 (自動車用無鉛ガソリン)	電源式 電源(単相・交流 100V 50/60Hz) 電流(10.8A)
重量	4.5kg	3.2kg
寸法(全長×全幅×全高)	350×235×370	905×174×400
価格(税込)	約5.5万円	約1.2万円
外観		

市販されているエンジン式集塵機(ガソリン燃料使用)によるヤスデの死骸の回収作業事例を示す。

エンジン式の集塵機なので、電源のない場所においても手軽に使用でき、機械自体はさほど重くはなく作業的に負担は少ないことから、自治体が集塵機を整備し、発生地区の自治会に貸し出すなどの活用が考えられる。

<用いた集塵機>



本機はエンジン式の集塵機なので、電源のない場所においても手軽に使用できる。



ファンの羽根はプラスチック製だが強く、この部分に落ち葉が当たると細断される。また、水分を含んだ土壌と一緒に吸引すると羽根に土壌がまとわりつくため、作業後はこまめにブラシ等を用いてメンテナンスすることが必要。

<回収状況>



機械自体はさほど重くはなく、作業的に負担は少ない。



機械にファンが付いており、そこに落ち葉等が当たることで細断される。竹の葉は軽く強いため細断出来ていない。

<回収前>



落ち葉等の残渣が集積した状態。  
このような状態で薬剤散布すると、効果が不安定になりかねない。



<回収後>



長めの枝や竹棒等は吸引出来ないが、広葉の落ち葉やヤスデの死骸等は吸引できている。吸引後に薬剤を散布することで、より効果的に薬効が発揮できる上、ヤスデの死骸が除去出来るので異臭対策にも役立つ。

【問合せ先】

鹿児島県環境林務部廃棄物・リサイクル対策課  
一般廃棄物係 ☎099-286-2594

⑤ 広報誌の例

1) 南さつま市市報 令和2年12月

**発生拡大** 不快害虫「ヤンバルトサカヤスデ」  
半数以上の自治会で…



ヤンバルトサカヤスデは、農作物や人に害を及ぼすことはありませんが、繁殖力が強く、特に夜、おびただしい数で集団移動し、家屋の中に侵入したりすることから、強い不快感を与えています。



**1. 駆除剤等の支援について**

住宅地域や家屋などの周りに駆除剤を散布しておくことで、侵入を防止することができます。

**市では駆除剤の購入について補助制度があります。**

**●個人には、7割を助成**

ヤスデの発生が確認された地域（隣接地域含む）の住民は、市が指定している駆除剤を通常価格の3割で購入できます。

- ①市役所市民環境課または各支所市民課で申請（駆除剤購入助成金交付申請書の発行、受領）
- ↓
- ②市が指定した販売所（農協）で購入（駆除剤購入助成金交付申請書に押印、提出）
- ※申請書1枚あたり8袋まで購入できます。

**●自治会には、無償提供**

自治会内の道路・公民館敷地・運動広場・共有地などを防除する際、駆除剤の無償提供やライン引きの貸与、散布作業をした際の報償費の支払いを行っています。

ヤスデ発生の恐れがある自治会や、上記の支援の詳細について知りたい自治会は、市民環境課または各支所市民課にご相談ください。

**2. 駆除剤の種類と特徴**

駆除剤名	有効期間	1袋あたり		
		重量	自己負担額	散布面積
コイレット	14日程度	3kg	370円	100㎡
ノックダウングスター	14日程度	3kg	480円	150㎡
ヤスデガード粉剤	10～14日程度	3kg	370円	100㎡
クリーンショットB	1～2ヶ月程度	3kg	440円	150㎡



※駆除剤に添付された説明書をよく読んで、ご使用ください。

※「自己負担額」は、市が指定した販売所で購入できる金額です。

※駆除剤には、ヤスデを誘引する作用はありません。

### 3. まん延防止対策

ヤスデのまん延は、生息地域からの樹木などの移植の際に土や堆肥などとともに、卵や幼虫、成体が人為的に運ばれることが最も大きな原因であるといわれています。生息地域からの園芸樹木などの根付き植物の持ち出しは極力避けるようにしましょう。

### 4. 駆除剤以外の防除方法

ヤスデは、餌となる落葉があるところや、日当たりの悪い湿気のある場所を好みます。ヤスデの生息しにくい環境づくり（土手の草払い、側溝の清掃など）が必要です。

また、ヤスデは集団で移動し、壁や塀をよじ登ったり家の中に侵入したりします。しかし、表面がツルツルした所は進めません。

養生テープやアルミテープを家屋の周り（柱や壁など）に貼って「ヤスデ返し」を設置し、侵入を防止することもできます。



【アルミテープを使ったヤスデ返し】（右写真はアルミテープが分かりやすいよう黄線で図示）

### 5. 駆除剤の購入は、お近くの農協で

	販売所名	連絡先	販売日時
<b>JA 南さつま</b> <small>（南さつま農業協同組合）</small>	加世田支所 経済課 <small>（加世田内山田 243 番地）</small>	0993-53-3254	平日（土・日・祝日除く） 午前 8 時 30 分～午後 5 時
	万世出張所 資材店舗 <small>（加世田唐仁原 6056 番地）</small>	0993-53-6170	
	大笠支所 経済課 <small>（大浦町 1970 番地）</small>	0993-62-3778	
	枕崎支所 経済課 <small>（枕崎市寿町 475 番地）</small>	0993-72-3114	
<b>JA さつま日置</b> <small>（さつま日置農業協同組合）</small>	南部物流センター <small>（金峰町尾下 422 番地）</small>	0993-77-1311	平日（土・日・祝日除く） <b>【11月～1月】</b> 午前 8 時 30 分～午後 5 時 <b>【2月～10月】</b> 午前 8 時 30 分～午後 6 時
	金峰経済店舗 <small>（金峰町宮崎 3890 番地）</small>	0993-77-1231	

☎ 市民環境課生活環境係 ☎ 0993-76-1521